

『必要なこと』(ルカの福音書 10 章 38～42 節) 2020.8.9.

<はじめに> 聖書には多くの物語が書かれています。神様は物語を通して私たちに語り掛けようとしてくださっています。物語には私たちにも通じる真理が描かれているからです。今日ともに分かち合うこの物語には、近い関係の中で起きた一つの出来事が描かれています。

I 物語を振り返って

①二人の女性

ここに二人の女性が出て来ます。どんな関係で、それぞれの名前は何ですか。イエスを自分の家に迎え入れたのはどちらでしたか。迎え入れたのはイエスだけですか。イエスを迎えた後の二人は、それぞれ何をしていましたか。

②マルタのことば

マルタがイエスの許に来た時、彼女はどんな気持ちでしたか。マルタが「主よ。私の姉妹が私だけにもてなしをさせているのを、何ともお思いにならないのですか」と言った後、彼女はイエスに何かを頼んでいます。どんなことですか。

③イエスのことば

イエスに訴える以外に、マルタにはどんな選択肢、方法があったでしょう。イエスは「マルタ、マルタ」と名前を 2 度呼ばれました。そして、必要なことはわずかです(42 節欄外注)と言われました。いくつあると言われましたか。

II 物語に描かれた心理

①気持ちの変化

マルタがイエスを自分の家に迎え入れたとき、どんな気持ちだったでしょう。しかし、やがて彼女の気持ちが変わっていきます。どう変化しましたか。なぜ、マルタの心はそんな風に簡単に変わってしまったのでしょうか。

②ことばと思ひ

マルタはイエスに「私の姉妹が私だけにもてなしをさせているのを何とも思ひにならないのですか」と言っています。なぜ直接マリアに手伝いを頼むことをしなかったのでしょうか。マルタがイエスに言いたかった本心は何でしょうか。

③マリアの姿

マルタがイエスに話している言葉がマリアには聞こえていたのでしょうか。聞こえていたなら、彼女はどう感じたと思いますか。それでもマリアはすぐにうごきません。マリアはなぜ、それほどにイエスの話を聞いたかったのでしょうか。

III 物語からのメッセージ

①二人の特徴

マルタとマリアは姉妹でしたが、それぞれに特徴があります。それを挙げてみてください。二人の間に違う点はどこなところでしょう。共通点は何かあるでしょうか。二人の特徴から、この物語以前に、二人の間にどんなストーリーがあったと思いますか。

②志向性

活動志向の人は、人との関係よりも活動を重んじ、関係志向の人は、活動よりも関係を大切にします。私はどちらの傾向が強いですか。この物語ではマルタは働きを重んじたために、結果的にマリアとの関係を損ないました。最初から意図したものではありませんが。

③みことばを聞く

「必要なことは一つだけです。マリアはその良い方を選びました。」と言われました。それは主の御言葉を聞くことです。ところで、マルタはイエスの御言葉を聞いたのでしょうか。聞いていたなら、それはどんな場面でしょうか。

<おわりに> 日常生活のありきたりな出来事の中で、イエスは私たちに気付きを与えられます。それが主の語り掛けです。聖書の物語、ことばが生活の中に入り込んで来て、主は私たちを導かれます。その時、しばし手を留め、心を開けると、私たちは主にお会いできます。(H.M.)